WORLD YWCA

World YWCA

Annual Report

世界 YWCA 年次報告書
2014 年 4 月～12 月

日本語版作成：日本 YWCA

World YWCA

WORLD YWCA ANNUAL REPORT 2014

世界 YWCA　年次報告書 2014　目次

Table of contents

総幹事からのメッセージ 1
世界 YWCA とは 2
世界 YWCA のビジョン 2
世界 YWCA の目的 2
世界とつながる 2
3 つの主要目標 3
優先課題 3
YWCA の指針となる価値 3
「変革への力」基金 4
エンパワーされたリーダー・意志決定者として権利を主張する 4
「エンビジョニング 2035」～20 年後を見据えて～ 5
協力団体、寄付者の皆さま 5
リーダーシップへの道のり 6
女性の権利を求めて声をあげる 7
運動を強化する 8
会計報告 9

総幹事のメッセージ

大胆かつ変革を続ける組織とは、長期的見通しに立って計画する勇気とビジョンがある組織です。私たち YWCA 運動のメンバーは「2035 年に向けたビジョン構築」に着手して以来、世界各地で女性や若い女性そして少女を中心に、より力強く、将来を見据え、成果を重視する YWCA を体現し始めました。2014 年はこのビジョン構築のプロセスを決定づける年になりました。

女性の権利推進は、グローバルに見ればある程度実現しましたが、大半の女性や若い少女そして少女たちにとっては日々の現実は変わることなく不安定です。世界の非識字人口のうち 64 パーセントを女性が占め、世界の総所得のうち女性が受け取っているのは 11 パーセント未満です。自分たちの生活に影響を及ぼす重大な問題に関する意思決定の場への女性の参画も、まだまだ不十分です。そればかりか、性と生殖に関する権利の侵害やジェンダーに基づく暴力など、女性に対する人権侵害は続いています。

未だに多くの国で児童婚・早婚・強制婚やレイプ、性的虐待のような慣習が容認されたり、見て見ぬふりをされています。その統計は驚くようなものです。毎年 1000 万人の少女が 18 歳の誕生日を迎える前に結婚します。「途上国」では 7 人にひとりの少女が 15 歳未満で結婚し、その結果健康を害したり、経済的困窮に陥っています。

さらに、世界各地で起きている紛争や戦争、また壊滅的な人災や自然災害が女性や若い女性そして少女たちの生活をひどく傷め続けています。こうした不公平を正すために、世界 YWCA は 2014 年、草の根のトレーニングやリーダーシップのスキル養成、対話し情報を得られるセーフ・スペースの確保、世代を超えた、そして国際的な議論の場でのアドボカシーとロビー活動など、幅広い取り組みを進めました。この取り組みには、2030 年までに貧困を絶ち、不公平を減らし、正義を確立するという国連の「持続可能な開発目標」に特に重点を置くことも含まれています。

世界 YWCA はまた、適正な組織運営を強化することや運動構築に多面的に関与することを通じて、世界各地の YWCA 運動の支援に引き続き力を注いでいます。こうした支援には例えば、世界 YWCA「変革への基金」を通じた約 68 万スイスフランのプロジェクト助成金の交付があります。さらに 4 年に 1 度開かれる世界 YWCA の意思決定会合、次回はタイのバンコク開催の「世界総会 2015」へ向け、詳細な計画立案も始めました。この会合には世界各地から約 600 人が集まり、世界 YWCA の将来の道筋を定めます。

私たちが世界中の女性や若い女性そして少女との活動や、女性たちの生活に効果をおよぼす法律や政策の変革を目指すアドボカシー活動を継続できるのは、世界 YWCA のスタッフや運営委員ならびにボランティアの皆さんの尽力のお陰と感謝しています。また、世界各地の YWCA の会員や加盟団体、企業、エキュメニカルな団体、個人でご寄付くださる方々、そして協力団体の皆さんからのご支援を有り難く存じます。すべての方に心よりお礼申し上げます！

世界 YWCA 総幹事　ニャラザイ・グンボンズバンダ

WHO WE ARE

世界 YWCA とは

- 世界で最も伝統ある女性団体のひとつ。
- 多様な信条や背景、文化をもったすべての女性たちを包摂するボランティアの運動体。
- 150 年にわたって女性の地位向上を目指す運動の先頭に立ち続け、平和・正義・人権・環境への配慮を推進してきた。
- キリスト教の理念、ならびに完全かつ平等な女性の社会参加へのコミットメントを源とする真にグローバルなネットワークをもつ草の根組織。

OUR VISION

世界 YWCA のビジョン

正義・平和・健康・人間の尊厳・自由・環境保護が女性のリーダーシップによって推し進められ持続される、すべての人に開放された世界。

OUR PURPOSE

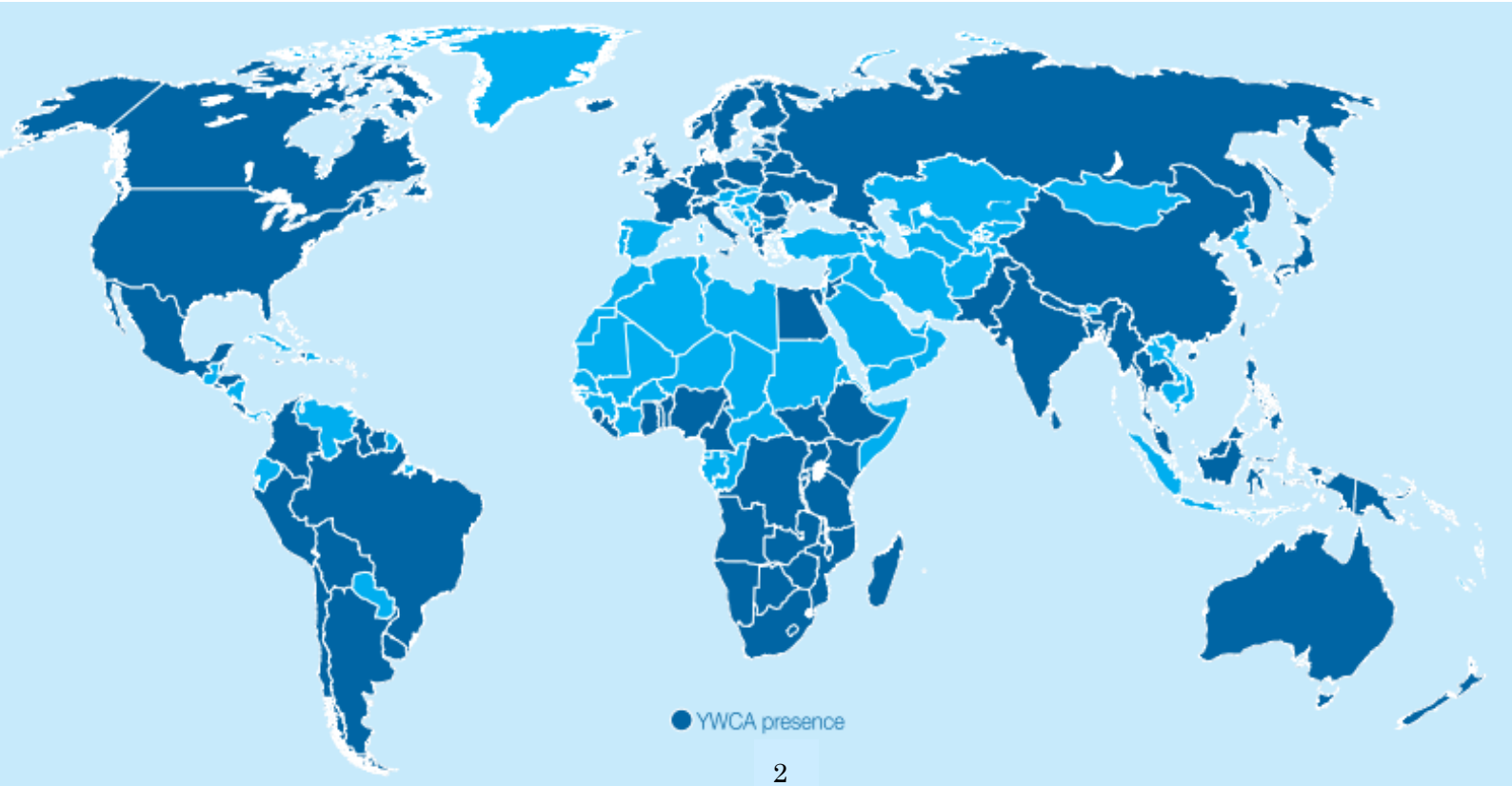
世界 YWCA の目的

すべての人々の正義、平和、健康、人間の尊厳、自由、持続可能な環境を達成するために世界中の女性と少女たちの力を結集し、リーダーシップを養成すること。

「他の文化を尊重し、かつ他者が実践しているリーダーシップを見習うことを学びました。つまり人のために働くことこそが、受け継がれていく遺産となるのです」

YWCA のグローバルなネットワーク

・2500 万人の女性や少女が活動　・会員数 300 万人　・120 ヶ国で活動　・プログラム参加者数年間 760 万人
・2 万のコミュニティで活動　・108 の加盟 YWCA（12 ヶ国が加盟申請中）



OUR 3 KEY GOALS

YWCA の３大目標

①世代を超えた女性のリーダーシップ

女性や若い女性および少女たちが実生活やコミュニティでリーダーシップを発揮し女性の権利を推進する。

②女性の権利

アドボカシーやプログラム、社会事業を通じて、女性や若い女性および少女の社会・経済・文化・政治的また市民としての権利を推進・擁護する。

③運動構築と適切な組織の運営管理（ガバナンス）

世界 YWCA は、組織として最高レベルの説明責任を果たすことで、女性や少女のリーダーシップを養成するという目的を効果的に達成する。

OUR KEY PRIORITIES

YWCA の優先課題

- 若い女性のリーダーシップ
- HIV と性と生殖に関する健康と権利
- 女性に対する暴力

OUR GUIDING VALUES

YWCA の指針となる価値

- 女性、若い女性および少女のエンパワメントを活動の中心に据えること。
- 多様性を尊重し、人権理念にある参加する権利・差別されない権利・説明責任に対する権利を支持すること。
- 世代間のリーダーシップおよびリーダーシップの共有／分担を模範にすること。
- 誠実な運営と、適切な組織の運営管理（ガバナンス）を保証し、すべてのレベルにおいて説明責任を果たすこと
- 多様な状況や地域における YWCA の歴史と現在取り組んでいる活動に価値を置くこと。

世界 YWCA は・・・

- エンパワメントのための資源と機会を提供します。
- 共通の目標を目指して活動します。
- スキル構築と知識の共有を促進します。
- コミュニティを基盤とするプログラムを実施します。
- 適切な組織の運営管理（ガバナンス）を支援します。
- 世代を超えたリーダーシップを発展させます。
- 強いネットワークと相互関係を構築します。
- 地域、国、グローバルなレベルでアドボカシー活動を進めます。

「変革への力」基金

よりよい未来への機会を提供する

1999 年に発足して以来、「変革への力」基金は世界各地のコミュニティで女性や若い女性そして少女たちにリーダーシップの機会を提供し、地域主導の YWCA の取り組みを支援する安定した資源であり続けてきました。2014 年に YWCA 加盟団体は SRHR（性と生殖に関する健康と権利）や HIV、女性に対する暴力、経済的エンパワメント、人権、アドボカシーなどの分野で 27 のプロジェクトを実施しました。「変革への力」基金はさらに技術支援や能力開発、モニタリングや評価といった活動も支えています。

2014 年、世界各地の YWCA 加盟団体は総額 67 万 9,574 スイスフランの助成を受けました。そのほとんどが地域や目的を特定して割り当てられました。

「変革への力」基金に温かい気持ちをお寄せくださった協力団体は、ホライズン（スイス）、デイビッド&ルシール・パッカード財団（アメリカ）、ブレッド・フォー・ザ・ワールド（ドイツ）、オーストラリア外交貿易省、ノルウェー開発協力庁ならびに数多くの個人の方々です。

エンパワーされたリーダー・意志決定者として権利を主張する

「多様な背景を持つ女性、若い女性、少女が、私たちの生活とコミュニティに影響を及ぼす課題に応えるエンパワーされたリーダー、意志決定者、変革の担い手としての権利を求め、手にしていくこと」

「エンビジョニング 2035」～20 年後を見据えて～

2011 年の世界 YWCA 総会にて、世界 YWCA は「エンビジョニング 2035」を呼びかけました。これは、YWCA 運動のすべてのメンバーが組織の課題と機会を検討し、今後 20 年間における世界運動のビジョンを描き出すプロセスです。世界 YWCA は、どのような方向性の方策を取るべきでしょうか？どうすれば、女性、若い女性、少女たちが直面している外部的現実・不平等に最良の形で対応することができるでしょう？加速度的に世俗主義が受け入れられていく世界にあって、YWCA のキリスト教基盤はどのような役割を果たすことができるでしょうか？

2014 年世界 YWCA 事務局は、意志決定会議である 2015 年 10 月の世界 YWCA 総会に先立って、ヘルシンキとボゴタで開催した協議結果、ならびに、複数の協議会、地域ごとの加盟 YWCA との電話会議、ソーシャルメディアでの情報収集の内容を集約して共通目標の提案文書を作成しました。

協力団体・寄付者の皆さま

多大なご寄付とご支援をいただいた皆さまに感謝いたします。

アクション・エイド・インターナショナル
ARROW （女性のためのアジア太平洋資料研究センター）
Bread for the World（世界のためのパン／元「 EED」）（ドイツ）
クリスチャン・エイド（英国）
オーストラリア外務貿易省（元「AusAID」）
HorYzon（スイス YWCA/YMCA）
Interchurch Organisation for Development Cooperation（ICCO）（オランダ）
IPAS アフリカ連合
フィンランド外務省
ノルウェー開発協力局（NORAD）
ノルウェー・チャーチ・エイド
ロバート・カー財団（オランダ）
ニュージャージー州立ラトガース大学（米国）
デイヴィッド ＆ ルシール・パッカード財団（米国）
国連開発計画
合同メソジスト教会世界宣教局海外災害支援部（UMCOR）（米国）
合同メソジスト教会女性部（米国）
世界祈祷日（ドイツ）
Y Global（ノルウェー）
各加盟 YWCA
個人寄付・故人記念寄付をいただいた皆さま

「私たちは皆、SRHR や HIV と AIDS の全体像を明確に理解し、特に若い女性が SRHR、HIV および女性に対する暴力（VAW）の分野における擁護者・リーダーとなるためのリーダーシップ構築と能力強化の知識を身につけて、アルーシャでの会議から帰りました」

キャロライン・フラワーズ

（世界 YWCA 会計役員・運営委員）

「若者、特に若い女性は、自らの SRHR に関して学び、エンパワーされる必要があります。中立的かつ秘密厳守で、証拠に基づく性と生殖の権利に関する情報やサービスがなければ、若い女性は望まない妊娠や危険な中絶、性感染症に対して無防備なままでしょう」

マルシア・バナスコ

（世界 YWCA コミュニケーション担当）

2014 年、世界 YWCA は、女性と若い女性と少女に研修とメンタリングを行い、明日を担うリーダーとなるためのツールを提供する、という長期の重点目標を追求しました。世界中の熱心な YWCA のボランティアとスタッフが、コミュニティレベルで幅広い分野の知識を共有しました。さらに、世界 YWCA は特定のテーマに関して地域および国際トレーニング会議を開催し、各国から何百人もの女性と若い女性の参加がありました。

世界 YWCA はまた、リーダーシップ経験にも強い焦点を当てています。若い女性の擁護者たちは、アフリカ連合（AU）サミット、国連女性の地位委員会（CSW）、国連女性差別撤廃委員会（CEDAW）、北京+20 グローバルレビュー会議等の主要な国際フォーラムに参加し、自らの懸念や主張を表明するなど貢献しました。以下は活動のハイライトです。

トレーニングを通じて若い女性を性と生殖に関する健康と権利（SRHR）の擁護者に

2014 年 3 月、タンザニアのアルーシャで行われた世界 YWCA 主催の SRHR と HIV に関する国際トレーニング会議（ITI）には、世界各国から 90 名近くが参加し、「SRHR と HIV に関する世界 YWCA グローバル行動綱領」について話し合い、再検討しました。ITI ではまた、若い女性リーダーを結集し、自らの性と生殖の権利についてアドボカシーを行い、HIV への対応に性と生殖に関するサービスを組み入れるよう促しました。

さらに、参加者は若い女性の SRHR のニーズを満たすための正式な「行動の呼びかけ」を作成し、これがニューヨークにおける第 47 回国連人口開発委員会や、メルボルンでの国際エイズ会議等のイベントに向けた主要なアドボカシー文書となりました。

同じく 3 月に、世界 YWCA はニューヨークで開催された CSW に 20 ヵ国から 80 名以上の代表団を派遣し、再び強い存在感を示しました。世界の若い女性の声を取り込んだ新たな開発アジェンダに向けてアドボカシーを行ったことに加えて、いくつかの YWCA が公式のパラレルイベントで発言し、若い女性の権利とエンパワメントの中核を成す問題点について関心を高めました。

変革をもたらす世代間リーダーシップを通じて女性の権利の実現を目指す

2014 年 10 月、世界 YWCA はコロンビア YWCA と協力し、コロンビアの首都ボゴダで第 4 回世界 YWCA 国際リーダーシップ会議（ILI）を開催し、世界中から 50 名の女性と若い女性が参加しました。ILI がラテンアメリカ地域で行われたのは、今回が初めてです。

「力強い YWCA 運動を通じて女性の権利を実現する、変革をもたらす世代間リーダーシップ」をテーマに掲げて、リーダーシップスキル、アドボカシー、人権基盤アプローチやコミュニケーションを含む主要分野において、世代間の関係を考慮した一連のワークショップを取り入れた会議となりました。参加者は自国や所属する YWCA の経験を共有し、YWCA 運動の将来と「2035 年に向けたエンビジョニング」プロセスについて共に熟考しつつ、共通の目標に向けて取り組みました。

2014 年 11 月には、世界 YWCA とソロモン諸島 YWCA が提携してソロモン諸島でも同様の会議を開催し、パプアニューギニア、ソロモン諸島およびサモアから 30 名の女性が参加しました。参加者は、ディスカッション、スキル構築、アドボカシーやエンパワメントと密度の濃い 1 週間のセッションを経て、スイス・ジュネーブで行われた CEDAW のセッションに参加する機会を得ました。

このトレーニングは「アジア・太平洋地域における若い女性のリーダーシップとアドボカシー結集」プログラムの一環として、オーストラリア外務・貿易省と世界 YWCA の共同出資によって実施されたものです。

アフリカの女性と少女の人権を推進

「私たち、アフリカの若い女性と少女は、アフリカの開発・発展の中心にいます。(中略)私たちの持つ力は、意思決定の過程に私たちが加わることで発揮されると確信しています。(中略)平和、気候公平性、人権の尊重、ジェンダー平等などが守られるアフリカという私たちの夢を実現するため、手を貸してしてください。汚職のないアフリカ、女性や少女に対する暴力のないアフリカ。若い女性が教育を受ける権利を享受し、児童婚を強いられることのないアフリカ。若い女性と少女が開発・発展の過程に参加でき、その成果を享受できるアフリカ。(中略)**『若い女性が求める未来』**の実現に向けて全力で取り組むよう、世界の指導者に繰り返し求めます。」

2014 年 1 月、エチオピアのアディスアベバで開催されたアフリカ連合サミットにアフリカ全土から 50 名の若い女性と少女が集まり、1 週間にわたって開催されたワークショップや会合、会議など多くの活動に参加しました。その間、元アイルランド大統領で「メアリーロビンソン気候公平性財団（MRFCJ)」の創設者であるメアリー・ロビンソンをはじめ、多くの優れたリーダーに会う機会を得、大きな刺激を受けました。また、コミュニケーションやソーシャルメディア、アドボカシーなどに関して新しいスキルを学びました。それらは今後アドボカシー・キャンペーンを実施する上で大いに役立つでしょう。

「北京＋20」の世界的レビューに、YWCA の視点を提示する

「北京会議から 20 年が経ち、女性の平等と権利を推進する様々な政策や法律ができました。しかし、基準の適用に関して重大な欠陥が見られますし、法的文書と私たちの経験との間にギャップ（隔たり）もあります」

ニャラザイ・グンボンズバンダ世界 YWCA 総幹事、NGO CSW 議長

2014 年、世界 YWCA は「北京＋20」に向けて、これまでの取組状況に関するレビューを行うすべての地域会議に参加しました。これは、1995 年の北京会議で採択された「ジェンダー平等と女性のエンパワメントの更なる推進」という公約の達成状況をモニターするための取り組みです。世界 YWCA は、草の根の女性たちの声や視点を伝え、少女と若い女性を含むすべての女性の人権推進の進捗状況に関する情報を提供しただけでなく、主要課題に対する関心を高め世界レベルの政策に影響を与えるために、声明文および立場表明文書を起草しました。また、世界 YWCA は、UN Women の「北京行動綱領 20 年」の世界的レビューにも大きく貢献しました。

女性の権利を求めて声をあげる

1855 年の創設以来、世界 YWCA は女性の人権を常に活動の中心に置いてきました。2014 年も例外ではなく、世界 YWCA のプログラムすべてが人権の原則とアプローチに基づいています。女性に対する暴力および健康、教育、経済的エンパワメント、性暴力、強制婚などの分野を含む若い女性と少女の基本的人権に関して、YWCA は代弁者、パートナー、アドバイザーとして広く認識されてきました。

有害な慣習と社会規範を変えるためのロビー活動

2014 年、世界 YWCA は、暴力や児童婚・早婚・強制婚などの有害な慣習にさらされている少女たちを支援すべく、各加盟 YWCA と連携してコミュニティへの介入をおこないました。また、世界 YWCA はエキュメニカルな協力団体とも協働し、信仰や宗教の指導者たちが社会規範を変えるために協力し、児童婚廃絶キャンペーンに声を寄せるよう働きかけました。

さらに、世界 YWCA は国連関連のイベント、特に、国連人権理事会で強い存在感を示し、女性に対する暴力根絶に関する決議の採択および公約の遵守を求めて各国政府に対してロビー活動をおこないました。例えば、児童婚から救出された経験を持つ人権活動家、ザンビア YWCA のエルネスティナ・マリアム・ミチェロに自身の経験を語ってもらい、またコンゴ民主共和国における性的暴力およびジェンダーに基づく暴力を非難する声明書を提出しました。

「女性に対する暴力は、あらゆる社会で最も蔓延している人権侵害のひとつです」

マンジョー教授

（国連特別報告者）

紛争地域における女性の人権をまもる

2014 年、世界 YWCA は紛争や戦争の影響を受けている国々における女性の人権をまもるためにアドボカシー活動に一層力を入れました。これには、南スーダンや他の紛争地域の公的和平プロセスに女性たちがもっと受け入れられるよう要求し、難民も同様に紛争が起きている国や占領下にある国々、また国連非加盟国において国際法の下で女性の人権がまもられるよう問題を提起するために国連人権理事会に参加することが含まれました。

また 2014 年 12 月、世界 YWCA は Isis-Women's International Cross Cultural Exchange と協力してウガンダにおける南スーダン人女性のための協議会のファシリテーター役を務め、アフリカ連合首脳会議では平和を強く求める提言を支持しました。そして引き続きパレスチナと韓国の情勢を監視し、パレスチナ YWCA と韓国 YWCA への支援を続けました。

暴力反対キャンペーン：「どんな言い訳も許さない（NoXcuses）」キャンペーン

世界 YWCA は 2014 年 10 月の非暴力週間で、女性、若い女性、少女に対して広がる暴力に対して意識を高め、より大きな動きにつながるよう働きかけるために visual multi-stakeholder platform と「どんな言い訳も許さない(NoXcuses)」キャンペーンを立ち上げました。

そして国連やエキュメニカルな団体、市民社会を含む主要関係者と個人をグローバルに巻き込むことで、このメッセージをより広く展開しました。

「暴力は、年齢を問いません。肌の色にも関係がありません。国境を超え、教会にも、モスクにも、パゴダにも、同様に忍び入ります。暴力は学校にも入り込み、また暗い路地や人通りのない道を好みます。暴力は時に、慣れ親しんだ友人や、信頼する人の顔をしていることもあります。

暴力的な行動には、いつでももっともな理由づけがされているようです。しかし、そのような言説はもう終わらせる時です。暴力はけして正当化され得ません。女性に対する暴力、またそれを見て見ぬ振りをすることには、どんな言い訳も許されません！」

デボラ・トーマス・オースティン

（世界 YWCA 会長）

運動を強化する

REINFORCING THE MOVEMENT

世界 YWCA 運動はグローバルに拡大し続けており、全ての運動と加盟 YWCA を強化し、発展させることは、依然として最優先課題となっています。YWCA のアイデンティティとグローバルなガバナンスの実践の中心は、適切な組織運営と説明責任の基準（SGMA）とハイレベルな質、責任、そして説明責任を示す運営と実践のガイドラインです。

2014 年、世界 YWCA 代表団は、確実に SGMA が理解され、実践されるよう複数の加盟 YWCA を訪問しました。そして組織運営の問題解決に取り組み、加盟 YWCA 支援委員会（MASAC）と共に加盟と脱退に関連する問題解決担当者をサポートしました。また、各加盟 YWCA の置かれている環境を理解し、いかなる問題にも支援の手を差し伸べるために、4 年にわたるアンケート調査のデータを加盟 YWCA と共に分析しました。同時に、世界 YWCA は意思決定の場において少なくとも 25%が 30 歳以下の若い女性とするという世界 YWCA の会則を徹底させました。

「世界 YWCA は、加盟 YWCA をひとつに結び、世界運動につなぎ、付託された事柄について加盟 YWCA を代表して活動する。」

世界 YWCA 会則第 5 条

会計報告

（単位：スイスフラン）

■資産

	2014 年	2013 年
1.固定資産		
・建物附属設備(純額)	145,083	168,296
2.流動資産		
・当座資産	3,465,205	
・売却可能金融資産	14,385,628	13,347,525
・売掛金	350,306	462,503
・Donations receivable	2,159,849	1,581,589
・源泉徴収税等	49,047	30,045
・前払金	-	1,629
2 合計	18,617,205	18,773,298
資産合計	18,762,287	18,941,594

■基金・準備金

1.一般基金		
・受取寄付金	3,879,454	3,988,800
・その他の準備金	592,782	833,470
1 合計	4,472,236	4,822,270
2.指定基金		
・指定プログラム基金	1,822	397,555
・リーダーシップ恒久基金	9,901,057	9,494,517
・国際発展基金	195,543	184,715
・J&U ポーター基金（資本）	189,385	191,824
2 合計	10,287,807	10,268,611
基金・準備金合計	14,760,042	15,090,881

■負債

1.固定負債		
前受収益	516,960	968,724
・年金	523,394	423,805
・加盟団体預り金	-	164,680
・前受寄付	65,503	77,980
1 合計	1,105,857	1,635,189
2.流動負債		
・前受収益	1,950,039	1,487,704
・買掛金および未収金	234,423	199,423
・加盟団体預り金	699,449	515,920
・前受寄付	12,477	12,477
2 合計	2,896,388	2,215,524
負債合計	4,002,245	3,850,713

基金・準備金、および負債合計	18,762,287	18,941,594

World YWCA

World YWCA
16 Ancienne Route
1218 Grand Saconnex
Geneva Switzerland

T+ 41 22 929 6040
F + 41 22 929 6044
E: worldoffice@worldywca.org
www.worldywca.org

World YWCA ANNUAL REPORT 2014（英文）
編集･発行： 世界YWCA　2016年 2月
世界 YWCA 年度活動報告(英語)は　www.worldywca.org

世界YWCA 2014年度活動報告書（日本語版）

編集･発行： 日本YWCA　2016年 9月
翻訳協力:浅原由美、芝田貞子、松本千枝、吉田亜希
Tel: 03-3292-6121 Fax: 03-3292-6122
E-mail:office-japan@ywca.or.jp